

「時代の展望」第1部 近代化①～③ 学習ポートフォリオ

課題1：「時代の展望 第1部 近代化 準拠ワークシート」課題2であなたが選んだテーマと、課題3で考察した私たちの生活や社会との関連をここに書き留めておこう。

私が選んだテーマ【 **学校教育** 】

関連する点

義務教育が始まり、教育される内容が決められたことで、誰もが教育を受けられるようになった。教育水準が高まったことで、国家の発展が進んでいったのではないだろうか。

課題2：授業のなかで、課題1に書き留めたテーマや関連する点につながると思ったことを記録しよう。

[○ 月 × 日の記録] 江戸時代の日本では、庶民が寺子屋で読み書き計算など日常に必要なことを学んでいた。	[○ 月 △ 日の記録] 市民革命は、様々な思想家が唱えた「社会契約説」を背景に起きたものだった。	[○ 月 □ 日の記録] ルソーの『社会契約論』は、日本での自由民権運動にも影響を与えた。
[○ 月 ☆ 日の記録] 北海道や沖縄県では、アイヌ語や琉球語の使用が禁止されて日本語教育が行われるなど、教育による同化政策が進められた。	[○ 月 ◇ 日の記録] 戊戌の政変では近代的学校の創設が進められるなど、日本の明治維新を参考にした改革案が次々と採用された。	[月 日の記録]

課題3：第1部で学んだことを踏まえて、「近代化」の歴史のなかにどのような課題が存在したか、「自由・制限」「平等・格差」「開発・保全」「統合・分化」「対立・協調」の5つの観点のうち、1つ以上の観点を活用して考察しよう。また、ここで挙げた課題は、私たちの生活や社会とどのように関連しているだろうか、書き出してみよう。

用いた観点【 **統合・分化** 】

「近代化」の歴史に見られる課題

学校制度の整備によって国家の近代化が進んだり、人々が「国民」としての意識をもつようになってきたりするなど、国家の統合が進んだ。その一方で、一つに「同化」することを強いられた人々も存在した。

課題と私たちの生活や社会との関連

私たちは学校の授業で「国語」として日本語や日本の古典を学び、「外国語」として英語を学んでいる。しかし、日本以外の国にルーツをもつ人が身の回りにも多くいるなかで、「国語＝日本語」「外国語＝英語」という考え方は必ずしもあてはまらないのではないだろうか。

課題4：第1部で学んだことの感想や、もっと学びたいと思ったことがあれば理由も含めて記録しておこう。

学校で勉強するという小さいころから当たり前に行ってきたことが、近代化や帝国主義の歴史と深く関わっていることに驚いた。現代では多様性が認められる世の中になってきているけれど、この時代の教育は同化を進める動きが強いと感じたので、それが今後どう変化していくのかを学んでいきたい。

年 組 番 名前